

議会だより



もくじ

中学生議会	2
議会フォーラム	3
審議議案と賛否状況	4
令和4年度決算認定	6
一般質問	8
委員会活動	16
議員コラム	19
議員見聞録	22

「未来的那須町は私たちが考える」を開催しました

10月2日(月)、町立中学校の3年生が、プレゼンテーション方式で「中学生が考えるこれからの那須町像」を町議会に提案しました。

プレゼンテーションのテーマ	中学校名/生徒名
便利で未来的な町	那須中央中学校 かとう ゆうせい わたなべ ゆうな 加藤 優惺 さん 渡邊 悠那 さん
那須町の活性化について	那須中学校 あきもと やまと すずき りゅうや 秋元 大和 さん 鈴木 琉矢 さん
集まれ!Nasuの山! ～自然の景観・のびのび育つ子供・みんなが集う町～	那須中央中学校 こだま ひろと ひらやま あいら 児玉 寛大 さん 平山 愛麗 さん
IT企業誘致で那須を“時代の最先端”に	那須中学校 すずき よしひさ 鈴木 義久 さん
活気飛び出せ!おいでよ那須町! ～商業施設の視点から～	那須中央中学校 さわだ りょうすけ すずき はるな 澤田 凌佑 さん 鈴木 陽菜 さん

「那須町がどうすれば発展し、人口が増加するのか」の提案はメリットだけではなく、デメリットも考えられた、中学生とは思えない大変すばらしいプレゼンテーションでした。

この中学生議会をきっかけに、町そして地域に関心をもっといただきたいと思います。提案いただいたものは、町議会において協議・検討し、各議員の一般質問などを通して町への要望や提言などにつなげていきます。



傍聴者(役場内傍聴、学校内傍聴)からいただいた感想を一部紹介します。(原文のまま)

プレゼンターに一言!

- 全員の発表がいきいきしていて伝えたいことやプレゼンしたいことが詳しくわかりました。
- 解決策や提案が面白く、細かいことも発言していて心に残りました。
- 修学旅行の後で、時間がない中よくここまでまとめたなと思います。

中学生議会全般について、ご意見の意見

- 見ている側としても面白く、分かりやすい提案ばかりだったので中学生議会を続けてほしい。
- 大人も勉強になる企画でした。

議会報告会を開催しました

那須議会フォーラム～気軽にしゃべっぺ!～

開かれた議会を目指し、「議会フォーラム(議会報告会)」を今年も開催いたしました。ご参加いただき、ありがとうございました。今年度は3つの会場で地域の方との意見交換を行いました。いただいた意見の中から、一部をご紹介します。



8月21日 旧大沢小学校体育館

- ・廃校のより良い活用を。
- ・デマンド交通の利便性を高めてほしい。利用可能日を増やしてほしい。
- ・除染土の集約について、町から町民全体への周知をお願いしたい。
- ・町道の路面状況が悪い箇所が多い。要望しているが、なかなか改善されない場所もある。

8月23日 大同集落センター

- ・広谷地の渋滞解消のため迂回路の整備など、対策を行ってほしい。
- ・自治会の加入率が低いため、災害時などの対応が心配。
- ・役場周辺の魅力づくり。周りに立ち寄りたくなる施設や、企画等を考えてほしい。
- ・投票率が低い地域への対策。分析を行うなどして、投票率アップに取り組んでほしい。

8月24日 寄居集落センター

- ・少子化対策に力を入れてほしい。
- ・婚活支援や若者の働く場所の確保を。
- ・買い物難民に対する支援を行ってほしい。
- ・後継者問題や新たな農業の担い手不足など、農地維持の問題が深刻。



農業を未来へつなげる

議会 フォーラムを 終えて

地域ごとに課題は様々だが、特に少子高齢化による問題は深刻であると感じました。今回いただいたご意見をもとに、町民の皆さんにとってより暮らしやすい那須町になるよう、今後も町への要望や提言などを行っていきます。

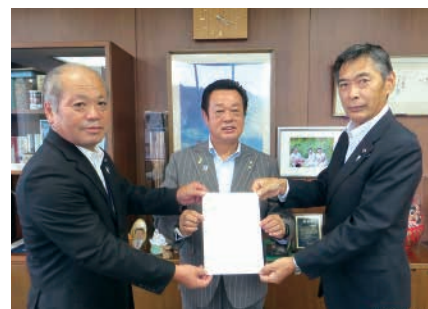
今回に限らず、日々町民の声に耳を傾ける議会でありたいと思います。今後も皆さんのお声をたくさんお聞かせください。

新年度予算編成における要望書を町長へ提出!

地方自治における二元代表制のもと町民の声を代弁する機関として、令和5年に行った議会フォーラム(議会報告会)を通じて町民等から寄せられた意見等をはじめ、予算・決算審査や所管事務調査、行政視察等に基づき、協議や議員間討議等の結果、那須町議会の総意として、新年度予算編成における要望書を町長に提出しました。

要望した内容

- 消防団から希望された夏場の活動服の購入費用
- 地域ふるさとまつり費の増額
- 町立小中学校トイレの暖房便座化
- 那須町福祉タクシー料金助成事業の対象者を、すべての75歳以上の高齢者とする
- 子ども食堂への新たな支援策
- 友好都市協定市町議会間での交流推進のための調査費用



審議議案と賛否状況

第5回臨時会 7月13日

上程議案・概要	審議結果
一般	
工事請負契約の締結について 道の駅那須高原友愛の森農産物直売所新築工事	原案同意 (全員賛成)
工事請負契約の締結について 道の駅那須高原友愛の森受変電設備更新工事	原案同意 (全員賛成)

※議長は賛否同数の場合にのみ加わります。

第6回定例会 9月1日～9月19日

上程議案・概要	審議結果	増山 このみ	小山 田典之	三浦 陽子	平山 輝貴	齋藤 則人	田村 浪行	関村 幸夫	木村 秀一	井上 博光	薄井 昇秋	池澤 昇子	小野 曜子	室井 高男
賛成:○ / 反対:● / 欠:欠席 全賛… 全員賛成で可決・認定、採択 賛多… 賛成多数で可決・認定、採択 賛少… 賛成少数で否決・不認定、不採択														
人事案件														
固定資産評価審査委員会委員の選任について 固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い伊藤晴康氏を再任	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会教育長の任命について 教育委員会教育長の任期満了に伴い平久井好一氏を再任	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命について 教育委員会委員の任期満了に伴い菊地厚子氏を再任	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例制定等														
那須町放課後児童クラブ利用者負担金徴収条例の制定について 放課後児童クラブの利用者負担金を町歳入とするための条例制定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
那須町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴う改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
那須町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 国の子ども・子育て支援交付金の改正に伴う改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般														
町有財産の取得について 除雪ドーザ1台を取得	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は賛否同数の場合にのみ加わります。

上程議案・概要		審議結果	増山	小山	三浦	平山	齋藤	田村	関村	木村	井上	薄井	池澤	小野	室井
賛成：○ / 反対：● / 欠：欠席 全賛… 全員賛成で可決・認定、採択 賛多… 賛成多数で可決・認定、採択 賛少… 賛成少数で否決・不認定、不採択			このみ	典之	陽子	輝貴	則人	浪行	幸夫	秀一	豊	博光	昇秋	曜子	高男
補正予算															
令和5年度那須町一般会計補正予算(第5号)について 総額 142億3,690万円 補正額 8億,580万円増額 【主な内容】 財政調整基金積立金 5億8,300万円 地域応援商品券事業費 1億2,814万円		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度那須町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 総額 35億7,710万円 補正額 4,340万円増額 【主な内容】 財政調整基金積立金 4,000万円		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度那須町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について 総額 4億2,820万円 補正額 220万円増額 【主な内容】 健康審査等事業費 220万円		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度那須町介護保険特別会計補正予算(第1号)について 総額 29億7,950万円 補正額 7,180万円増額 【主な内容】 財政調整基金積立金 6,927万円		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案															
那須町決算審査特別委員会の設置について 令和4年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算7議案を審査するため特別委員会を設置		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定															
令和4年度那須町一般会計歳入歳出決算認定について		賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和4年度那須町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度那須町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和4年度那須町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度那須町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度那須町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度那須町水道事業会計決算認定について		賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※議長は賛否同数の場合にのみ加わります。

令和4年度の決算認定

決算審査特別委員会審査後、採決を行い、本会議において全ての決算議案を認定しました。町が指定した令和4年度の重点事業の評価等の一部と決算審査特別委員会(9月12日及び13日)の質疑・応答の一部を紹介します。

… 令和4年度の重点事業の評価等(重点事業一覧より抜粋) …

保育園運営事業 4億2,422万円

令和4年4月から登降園システムを本格運用したことにより公立園の保育の見える化や保護者との一斉連絡等、安定した保育にあたることができた。民営保育所の補助金においては、私立保育所のICT化、病後児保育事業など安定的な経営につながった。

学校給食事業 2億3,818万円

学校給食費の公会計化により、学校事務の業務の効率化を図ることができた。また納付方法が多様化し、保護者の利便性を向上させることができた。1食あたり30円の給食支援として助成を行い、児童生徒一人あたり5,970円を助成した。

町有林管理事業 9,542万円

計画的に伐採、植付を行うことにより、町有林の適正な管理ができるとともに、樹木の若返りにより二酸化炭素の吸収力を高める効果がある。また、毎年継続的に実施していくことにより、安定的な財産収入が見込める。

国民体育 大会事業 8,096万円

令和4年9月のデモンストレーションスポーツ「エアロビック」、同年10月の自転車競技(ロードレース)に、来場者(10,527人)や全国各地から選手等(5,009人)を迎え、各競技及びおもてなしを実施することができた。



白熱したロードレース

非常備 消防活動事業 5,922万円

消防団員の活動に必要な車両や詰所の維持管理が行われたことにより地域防災力の維持が図られた。

地域包括 支援センター 運営事業 4,896万円

那須高原地区地域包括支援センターが新設され、既存の那須地区地域包括支援センターとの連携により町民の福祉向上が促進された。

… 決算審査特別委員会 …

議員の質疑	町の応答
<p>●町税 入湯税</p> <p>入湯税が32%の増額となったが、コロナ禍前に戻ったか。</p>	<p>●税務課</p> <p>入湯税は、9割程度戻ってきている。</p>
<p>●総務費 ふるさとづくり推進費</p> <p>ふるさと納税の自動販売機を試験導入した効果は。</p>	<p>●企画政策課</p> <p>自動販売機によるふるさと納税は(予定額を上回り)2,974万円。現地ですぐ納税できる手軽さと旅館組合共通の返礼品を追加したことも要因だと考える。</p>
<p>●民生費 保育園費</p> <p>保育園1園あたりの光熱水費が高くなっていると思うが何故か。</p>	<p>●こども未来課</p> <p>コロナ禍で、室内での活動が多くなったこと、温暖化でエアコンの稼働が増えたことが増額の要因。</p>
<p>●商工費 商工業振興費</p> <p>栃木県アンテナショップ協議会の活動内容は。</p>	<p>●観光商工課</p> <p>栃木県と25市町で、東京スカイツリーにある「とちまるショップ」運営。</p>
<p>●土木費 住宅対策費</p> <p>おためし地域おこし協力隊事業の業務内容は。</p>	<p>●ふるさと定住課</p> <p>那須町の地域おこし協力隊になってもらうための事業で、7月に2泊3日で参加者5名。内容は、地域おこし協力隊のOBやキーマンになる方との交流、また町の観光施設を含めた案内などを行った。</p>
<p>●消防費 消防設備費</p> <p>消防ポンプ自動車3台の購入は、可搬式ポンプ積載型の車両か、ワゴン車タイプの車両か。</p>	<p>●総務課</p> <p>2台は軽トラックタイプの消防ポンプ付き積載車、もう1台は軽四駆タイプの小型消防車。</p>
<p>●教育費 小学校費及び中学校費</p> <p>法人インターネットバンキングの効果は。</p>	<p>●学校教育課</p> <p>学校事務員が都度、金融機関へ出向き、お金の出し入れを行っていたが、学校内のパソコンで一括管理できるようになった。学校からは大変好評を得ている。また教職員の働き方改革の一部にもつながっている。</p>
<p>●教育費 中学校費</p> <p>中学生学力フォローアップ事業の実施日数、中学生の参加人数、指導者の人数は。</p>	<p>●学校教育課</p> <p>2回実施し、1回目が8月3日から5日まで、中学生48名の参加、指導者は14名。2回目が3月28日から29日まで、中学生57名が参加、指導者は15名。</p>
<p>●後期高齢者医療特別会計</p> <p>国の方針の見直しで負担が増えたのか。</p>	<p>●税務課</p> <p>75歳以上の被保険者が200名増えたが、総所得として6億円増額しており、新たな被保険者で所得の多い方が増えたことが要因と考える。</p>
<p>●水道事業会計</p> <p>加入率、加入件数、給水量の増減は。</p>	<p>●上下水道課</p> <p>加入率は若干だが増加、加入件数はほぼ横ばいではあるが、使用人数は人口減少に伴い減っている。また人口減少や節水型のトイレ、シャワーなどが普及しており、水量は減っている。</p>



◀ 動画配信が見られます

議員のつづやき
住民によく説明し、
その声に耳を傾ける町政を



おの ようこ
小野 曜子

次期介護保険料負担について

質問 基金活用で介護保険料引き下げは

町 ▶ 適正な介護保険料設定に努める

問 令和3年度の介護保険の財政調整基金が前年より7,900万円増えて4億1,500万円になった。議会は昨年9月の決算審査特別委員会の報告書で基金について、今後の予算編成で有効に活用を検討することを要望した。町は要望を受け基金を活用し介護保険料を軽減する考えは。

答 【保健福祉課長】
介護保険は計画期間3年の中で介護保険給付費等を見込んで介護保険料を設定している。計画最終年度で余剰があると認められる場合は、一定額を基金から取り崩し、次期介護保険料の上昇抑制に充て、適正な保険料設定に努めていく。

※1…自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金

第8期(2021~23年度)の所得段階別介護保険料

	所得段階区分 負担割合	保険料年額
第1段階	0.50 (0.30)	34,800円 (20,900円)
第2段階	0.75 (0.50)	52,200円 (34,800円)
第3段階	0.75 (0.70)	52,200円 (48,700円)
第4段階	0.90	62,700円
第5段階	1.00	69,600円
第6段階	1.20	83,600円
第7段階	1.30	90,500円
第8段階	1.50	104,500円
第9段階	1.70	118,400円

※()内は公費による軽減後の実費負担額。
(第8期高齢者福祉・介護保険事業計画から引用)

除去土壌等の暫定集約について

質問 暫定集約地の結論は早いのでは

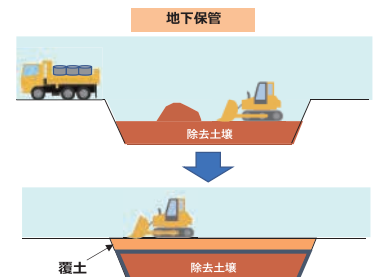
町 ▶ 除染実施計画に基づき実施

問 8月26日の説明会で参加者から「候補地選定を振り出しに戻してほしい」との意見に対して、町の返答は「暫定集約の候補地決定は町民の皆さんにお諮りするものではないと考える」で良いか。

答 【環境課長】
暫定集約については、除染当時から町民の皆様との約束であり、除染実施計画に基づき実施するもので、それに対する町民の意思決定であることから、お諮りするものではないことをご理解いただきたい。

問 暫定集約の場所を町所有の土地との結論を急がず、全町民に周知して説明会を聞く考えは。

答 【環境課長】
暫定集約地決定は、除染実施計画に基づき町民の意思決定で進めるもので全町民に周知し説明会を開催する考えはない。



※「関係する法令や環境省ガイドラインに基づき、適切に管理する」
除染除去土壌の集約の方法(町の資料より)

◆ほかに「子ども子育て世帯への支援策」「地域公共交通」の質問もしています。



◀ 動画配信が見られます

議員のつづやき
子育て支援の拡充や
高等教育費の負担軽減が
少子化対策で重要



たむら なみゆき
田村 浪行

◆ほかに「共生社会の実現を促進するための認知症基本法の成立による町の対応」の質問もしています。

少子化対策に関する支援策について

質問 出生時おむつ券減額の理由は

町 ▶ 減額ではなく子育て支援を拡充

問 2018年度から乳幼児おむつ等購入助成券(おむつ券)が交付されているが、その目的は。

答 【こども未来課長】
次世代を担う子どもの出産をお祝いし、健やかな成長を応援することが目的。子育てに必要な乳幼児用おむつ及びその関連商品を購入する費用の一部として助成している。

問 2021年度から3歳児へのおむつ券が廃止された理由は。

答 【こども未来課長】
概ね3歳児になる前におむつが外れる。子どもの成長を促すため、トイレトレーニング実施へ対応方法を切り替えた。

問 2023年度から出生時のおむつ券を2万円に減額した理由は。

答 【こども未来課長】
減額ではなく、利用内容の自由度を広げたもので、各種健康相談業務や不妊治療等も含め、妊娠出産時や子育てに支援を拡充した。



有権者の権利を行使する施策について

質問 投票率の格差対策は

町 ▶ 投票所の利便性を高める

問 投票率の低い若年層に対する取組みは。

答 【選挙管理委員会事務局書記長】
40代以下の年齢層を意識した取組みとして、従来の選挙啓発の他にスマートフォンなどの利用者向け自治体ターゲット^{※1}広告を導入したい。

問 地域による投票率の格差対策は。

答 【選挙管理委員会事務局書記長】
投票率が低い地区などについては、投票の利便性を高めるために、期日前投票所の変更などを含め対応していきたい。

問 高齢者の投票所までの負担軽減策は。

答 【選挙管理委員会事務局書記長】
送迎手段や移動投票所について、継続して研究していきたい。

問 障がいがある有権者への対策は。

答 【選挙管理委員会事務局書記長】
投票所に車いすの準備や点字投票、代理投票、郵便投票など対応しており、町ホームページでも案内している。

※1…自治体がターゲットやエリアなどを絞って配信する広告



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき
効果的で幅広い
情報発信を



町の情報発信について

質問 新たな手段を用いた情報発信は
町 ▶ 今秋にLINEを用いたツールを導入 ましま 増山 このみ

問 情報発信の現状について、課題や問題点は。

答 【企画政策課長】
町民や情報を求める方が、必要な情報を受け取ることができるよう多様な情報発信方法が必要。

問 エックス ツイッター X(旧Twitter)運用の予定は。

答 【企画政策課長】
各種※1SNSの状況を踏まえ、効果的な活用を進めたい。

※1…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネット上で、ユーザー同士が繋がれるような場所を提供するサービスの総称

問 新たな手段を用いた情報発信を行う予定は。

答 【企画政策課長】
今年度秋にLINEの拡張ツールを活用したアプリを導入予定。情報発信だけでなく、行政サービスのオンライン化も図れる。

問 町長自身がSNSを活用し、情報発信を行う考えは。

答 【町長】
各課からの情報発信を強化したい。個人での発信は考えていない。

地域おこし協力隊について

質問 今後も制度利用は継続するか
町 ▶ 積極的に活用していきたい

問 地域おこし協力隊(以下、協力隊)を採用する目的は。

答 【ふるさと定住課長】
地方が都市住民を受け入れ、地域活動に従事してもらいながら、定住定着を図る。地域力の維持・強化に資する有効な方策と考える。

問 協力隊の業務内容は。

答 【ふるさと定住課長】
採用手段の一つだが、役場の会計年度任用職員として採用し、まずは所属課において、業務内で人脈や必要な知識を得てもらっている。

※2…2020年4月の地方公務員法の改正により導入された非常勤の地方公務員。従来の臨時職員や嘱託職員などに代って設置された

問 活動支援などのサポート体制は整っているのか。

答 【ふるさと定住課長】
住宅等の借り上げ支援や、今年度から協力隊OBによる個別面談やセミナー、生活サポート等、活動・生活の両面のサポートを開始。

問 今後も協力隊制度の利用は継続していくのか。

答 【ふるさと定住課長】
退任後に起業した方や伝統工芸の伝承など、町内で活躍されている方もおり定住にも繋がっている。今後も積極的に活用したい。



イベントで活動する協力隊



◀ 動画配信が見られます

議員のつづやき
那須高等学校、このまま
存続させたいですね



いけざわ のぶあき
池澤 昇秋

■ 県立高等学校再編計画について

質問 存続を重要な町課題とする考えは

町 ▶ 状況に合わせいち早く県に要望

問 那須高等学校の募集定員を満たすための町の支援は。

答 【企画政策課長】
学校や学校運営協議会と連携し支援していく。学校紹介などの魅力を伝える場の創出を図っていく。

問 那須高等学校存続を町の重要課題とする考えは。

答 【町長】
令和11年度までは存続が決定している。令和12年度以降に関しては、県から新たな方針が出ていないため、現時点で県への存続要望活動は考えてない。今後の状況に応じて、必要と判断すればいち早く要望活動を行いたい。

問 募集定員に欠員が出た際の再募集を、県に要望する考えは。

答 【学校教育課長】
県が設置した入試制度改善のための検討委員会からの協議報告を受け、再募集の実施についても現在検討しているとのことである。



地域と連携している那須高等学校

◆ほかに「観光振興」「子育て支援」の質問もしています。

■ 認知症のサポートについて

質問 GPS端末活用の考えは

町 ▶ 他自治体の事例を調査し検討する

問 GPS端末を活用し、認知症のため徘徊の恐れのある方の早期発見に役立つ考えは。

答 【保健福祉課長】
大きな効果が期待されるが、GPS端末の管理問題など課題もあるため、他自治体の事例を調査しながら検討していきたい。

問 行方不明者の捜索時、1日あたりの消防団員の出勤人数は。

答 【総務課長】
一例ではあるが、那須町にある5分団から1分団につき10名ずつ、合計50名体制。3日捜索すれば、延べ150名ほどとなる。

問 GPS端末の導入は消防団員の負担軽減にもつながると思うが、導入の時期を、いつ頃と考えているのか。

答 【保健福祉課長】
他自治体の事例を調査し検討していくため、今の時点で導入時期は明言できない。



◀動画配信が見られます

議員のつぶやき

特定空き家の固定資産税が
6倍になる可能性が！



きむら しゅういち
木村 秀一

■ 空き家・空き店舗の適正管理について

質問 空き家になる前の対策は

町 ▶ 相談体制の充実

問 空き家になる前の対策は。

答 【ふるさと定住課長】
空き家になる前の相談体制を充実させ、
利活用やPRなどを図っていききたい。

問 空き家利活用のために民間からの資金調達も視野に入れ、例えば成果連動型の民間委託ソーシャル・インパクト・ボンド^{※1}を導入する考えは

答 【ふるさと定住課長】
空き家対策および空き家バンクを含む公共整備の必要がある場合、町に合ったより良い方法を調査研究していく。

問 空き店舗等リフォーム補助金の使い方を柔軟にし、事業に必要な機材の導入を対象とする考えは。

答 【観光商工課長】
他市町の状況などを調査研究していききたい。



倒壊の恐れ「キケン」

※1… 事業の成果を評価して可視化し、それに評価結果と支払を紐づけた、成果連動型民間委託契約の一つ

■ 部活動の地域移行について

質問 町の部活動改革の方向性は

町 ▶ 豊かな体験活動の機会を確保

問 国は公立中学校において、これまで教員が受け持っていた運動部・文化部の指導をスポーツクラブや競技団体などに外部移行する方針を令和5年度より進めている。町の部活動改革の方向性は。

答 【教育長】
地域のクラブ活動として、子ども達の放課後や休日に豊かな体験活動をする機会を確保する考えのもと、子ども達のニーズに応え、多種多様なスポーツや文化芸術活動に触れる場を確保したい。

問 休日に指導する教師は、兼職・兼業の許可が必要となるが、制度構築の考えは。

答 【生涯学習課長】
今後、部活動の地域移行と並行して検討していききたい。

問 部活動を地域に移行する課題は。

答 【生涯学習課長】
受け皿と成り得る運営団体や、専門的な知識を有する指導者を確保することが課題である。



ソフトテニスで汗を流す中学生

◆ほかに「友愛の森再整備事業」の質問もしています。



◀ 動画配信が見られます

議員のつづやき
在留外国人は470人ほど
共生できる社会を



外国人の安全・安心について

質問 災害時の外国人対応は

町 ▶ 多言語による情報提供・相談業務

ひらやま てるたか
平山 輝貴

問 災害時の外国人対応について、どのような対策を考えているか。

答 【総務課長】
県と協力し災害時の多言語による情報提供、相談業務などを行うことにより、外国人の安全体制の確保に努める。

問 避難勧告や避難指示はどのような方法で行うのか。

答 【総務課長】
安全安心メールなどにより発信。しかし、日本語をよく理解できない方への対応は検討しなければならないと考える。

問 町要配慮者対応マニュアルに外国人在留者を要配慮者として明確に位置づける考えは。

答 【総務課長】
地域防災計画では、日本語がよく理解できない外国人を要配慮者としている。今後も落ち度のないような対応をしていかなければならないと考えており検討していく。



多言語表示シート

情報格差にかかると問題について

質問 情報格差は

町 ▶ 情報格差の是正

問 DX推進上、高齢者の情報格差をどのように考えているか。

答 【町長】
現在策定中のDX推進計画においても、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を掲げており、情報格差の是正に取り組んでいる。

問 高齢者が^{※1}情報リテラシー不足により被る^{※2}トラブルの未然防止策は。

答 【企画政策課長】
総務省の^{※2}デジタル活用支援推進事業を実施することで、情報リテラシーの向上を図り、トラブルの未然防止に繋がっていききたい。

問 目の不自由な方に対する情報発信時の配慮は。

答 【企画政策課長】
ボランティア団体による広報紙音訳版の配布や、ホームページ作成時にも、目の不自由な方に利用しやすいように配慮している。

問 目の不自由な方々を支援する団体への支援を拡充する考えは。

答 【保健福祉課長】
現在考えていないが、情報格差を生まない取組みを進めたい。

※1… 情報を読み解き活用する能力

※2… 高齢者等のデジタル活用に関する不安の解消に向け、オンラインによる行政手続き等のスマートフォンの利用方法に関する「講習会」を行う事業



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき
災害対策と林業の活性化を



いのうえ ゆたか
井上 豊

災害対策について

質問 町の取組みは

町 ▶ 防災体制の強化

問 頻発する強風、豪雨の対策について、町の取組みは。

答 【町長】
主な取組みとして、防災啓発、出前講座、情報伝達訓練、水防訓練等を実施し防災体制の強化を図っている。

問 ※1 自主防災組織設立の進捗状況は。

答 【総務課長】
現在までに10組織が設立されている。さらに設立に向けて調整している自治会が複数あり、設立の機運が高まってきている。

問 自主防災組織設立促進の取組みは。

答 【総務課長】
自主防災組織結成運営マニュアルを作成し全自治会に配布している。職員が自治会等に直接出向き、自主防災組織について説明会を行い、普及促進を図ってきたい。

※1…自分達でできる防災活動を行うために結成される、地域住民による任意組織

森林経営の活性化について

質問 本町木材の活用は

町 ▶ 木材の利用を促進

問 ※2 森林環境譲与税の活用状況は。

答 【農林振興課長】
森林経営管理制度に基づき、森林の整備、人材育成、森林環境学習や木材の普及活動等に活用している。

問 都市部と連携して本町木材を活用する考えは。

答 【農林振興課長】
都市部との交流機会を通し、本町木材をPRし、利用促進を検討していきたい。

問 ※3 森林環境譲与税を活用して森林経営管理アドバイザーを採用する考えは。

答 【農林振興課長】
地域林政アドバイザー制度の活用を検討していきたい。

問 森林環境譲与税の一部を活用して植林する考えは。

答 【農林振興課長】
町に森林所有者から森林整備について委託があった場合、森林経営管理制度を活用し適切な森林の整備を実施していきたい。



木材伐採後の山林

※2…国から自治体へ譲与されるもので、「森林整備及びその促進に関する費用に充てる」と使途が決まっている

※3…自治体が、森林・林業の知識や経験を有する技術者を雇用（又は技術者が所属する法人等に事務を委託）して、自治体の森林・林業行政の体制支援を図るもの

令和5年第6回定例会 傍聴者(一般)アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。
皆様のご意見を議会活動に反映するよう努めます。
アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。



他のご意見等は
こちらから

アンケート回収日	傍聴者数	回答者数	回収率
9/1~9/19	36	27	75.0%

意見

議会を傍聴されて気づいた点、ご意見をいただきました

回答

音響が良く、声が聞き取りやすかった。
傍聴席の座席が狭く辛かった。

傍聴席については、構造上の問題ではありますが、何か工夫が出来ないか町と協議したいと思います。
しかしながら、傍聴席の改修は早急には対応できないため、401委員会室での傍聴もご検討をお願いします。

町の答弁が堂々めぐりになる場面、議員が質問、追及を諦めてしまうように感じられるところがあった。事前に納得できる説明や、町長自らフォローして議会運営、議論をまとめてほしい。

質問の中で追及するよう心がけていますが、今後も、納得できる回答を得られるよう工夫してまいります。

時間配分が不十分で、分かり易い内容ただけに最後駆け足になってしまい残念な部分もあった。

質問数を減らすなど、時間配分を考えた質問をするよう心がけてまいります。

今後、調査・研究・アンケートなどの答弁に、いつまでに実施、分析し、対応策をするのかが明確になるような情報を加えてほしい。

調査研究の内容を深掘りするとともに、実施時期についても実施の状況を追跡してまいります。

然るべき手続きに沿って運営される現場を拝見し、身の引き締まる思いをした。

引き続き取組んでまいります。

質問が、総務、企画、福祉に集中しすぎる。他の課にも質問がないのか。

今後、質問を工夫してまいります。

議会又は議員について、ご意見をいただきました

議員さんがきちんと調査をし、質問をされている事がわかりました。ただ、回答からの再質問において、若干内容にズレがあった事が気になりました。
傍聴する者にも分かり易く簡潔な質問にしてもらえると、より有難いです。

更なる調査や研究を重ね質問をしてまいります。
聴く側の立場に立って丁寧な質問と専門用語はなるべく使わない配慮をしてまいります。

8月に議会フォーラムを行いました。もっと多くの地域で行ってほしい。出された意見はどのように扱い実践につながるか!!!意見の出しっぱなしはむなしいです。

毎年町民の皆さんの声をお聴きするにはどこで開催するのが良いのか検討し、決定しています。町と重複しない地域を選んで行っております。議会改革でご意見を検討し今後の課題として取組んでまいります。

登壇者(通告)の少数傾向が続いている。通告内容が重複しない中で、多方面の課題について多数者の登壇を期待したい。

一人でも多くの議員が課題解決に繋がる一般質問をしてまいります。

※意見は原文のまま掲載しております。

意見交換会

各常任委員会では、各種団体と意見交換会等を通じて必要な事項を取りまとめ、政策提言や予算要望につなげていきます。

総務産業常任委員会

7月13日 那須町森林組合

- 材木価格が下がって来ており、県産材の使用補助を県に要望して欲しい。
- 森林環境譲与税を、人材育成や担い手不足解消に使えないのか。
- 山の所有者が高齢化しており、境が判らなくなっているのが現状。管理放棄され荒廃した山が多くなっており災害時に不安。
- バイオマスなど新たな事業を立ち上げるためにも、パルプ材などの植林を進めてほしい。

7月19日 那須町消防団

- ポンプ操法競技会のあり方が変わって来たが競技性に特化しており団員の負担になっている。
- 出勤時に企業や職場の理解を得る事に苦慮している、消防団の重要性が周知されていない。
- 機能別団員は消防車両の運転が許可になっておらず出勤に支障が出ている。
- 夏用の活動服を改善することが必要。
- 消防団加入のメリットがない、家族も含めた特別割引が有ると良い



消防団の現状と課題を訴える鈴木団長

所感

森林管理環境は厳しく、材木価格の不安定や高齢化と担い手不足が大きな課題になっている。消防団も団員確保に苦慮しており、消防団の重要性を理解してもらわなければ、存続に直面する大きな課題である。両課題の解決に今後も町へ働きかけていきます。

民生文教常任委員会

7月14日 東陽小学校内・なかよしクラブ

- 施設を拡張し児童の定員を広げて欲しい。
- バス等で送迎のサービスが出来ないか。
- 指導員を募集しているが確保出来ない。
- 芦野、伊王野の両地区で放課後児童クラブが欲しい。
- 土曜日の利用料金が割高なので、仕事を休んでいる。

7月18日 田代友愛小学校内・田代ひまわりクラブ

- 開設時間が18時までだが、もう少し延長してほしい。
- 定員がオーバーしており受け入れを断っている。
- 室野井もりぞうクラブまでは、冬は送迎が困難。
- 保護者会と運営側との関係が役員が代わると今のまま継続できるか心配。



活発な意見が飛び交う会場

所感

少子化と言われているが、両クラブとも定員をオーバーし受け入れ児童を断っている状態である。この意見交換会を通じ、いただいたご意見を基に施設の拡張や指導員の確保等を町へ働きかけていきます。

行政視察

議会運営委員会

長野県 伊那市 (7月3日)

テーマ

伊那市における
議会改革について

長野県 宮田村 (7月4日)

テーマ

宮田村における
議会改革について



宮田村



伊那市

所感

伊那市は議会に未来の地域づくりの担い手(議員)を育てる目的で若年層との意見交換にも取り組まれている。

宮田村は重点施策の中で「村の活力を維持できる人口を確保する」とうたっており、村民一体で村存続に取り組んでいた。当議会も「町民に身近な議会」を改めて認識し、町民の皆さんと共にまちづくりに参加できる議会を目指し議会改革に取り組んでいきたい。

民生文教常任委員会

6月22日 岩手県 宮古市 テーマ:「脱炭素地域づくりについて」

津波被害を受けた土地の復興と地域の活性化を目的として建設された。発電所の収益は、地元の公共施設の運営費や地元企業への支援などに活用されていた。視察を通し、田老太陽光発電所は脱炭素地域づくりに寄与しているとともに被災地の復興と地域の活性化にも貢献している。また、太陽光発電の可能性についても改めて感じた。那須町も、持続可能な地域づくりに取り組んでいきたい。脱炭素地域づくりは持続可能な地域づくりに必要であると感じた。



たろう
田老太陽光発電所

6月23日 岩手県 ^{おおつち}大槌町 テーマ:「大槌町立大槌学園について」

震災後の復興で統合された小中一貫校。地域と連携し自然や文化を授業に取入れ、子どもたちが自らの力で夢を実現できる教育に取り組んでいる。また、生徒の自主性を育むために、様々な地域体験活動を実施していた。一貫校となることで中1の壁を感じることなく学習に取り組めるメリットがあるのではないかと感じた。



木の温もりを感じる木造校舎

行政視察等を受入れました

鳥取県北栄町議会
(7月19日 8名)

・議会改革の取組について

山梨県町村監査委員協議会
(8月29日 25名)

・那須町の監査の実情について
・議会改革について
・特色あるまちづくりについて(観光について)

群馬県玉村町
(9月27日 9名)

・議会報告会(意見交換)の開催について
・予算審査特別委員会の通年化及び委員会代表質問の導入について
・議会WEBアンケート、タブレットの導入とペーパーレス議会の実施について



令和5年度 那須町議会 議員研修会

議員力向上を図るため、議員研修を行っています。

公職選挙法について

7月26日(水)

那須町選挙管理委員会事務局選挙係 大森智美氏を講師に招き、「公職選挙法」についての研修を行った。



内容

- ・選挙運動
- ・政治活動

選挙運動と政治活動の違い、注意すべき点など再確認するとともに、知識を深めることができた。

男女共同参画について

8月25日(金)

とちぎ男女共同参画センター 野中敬久氏を講師に招き、町職員と合同で「男女共同参画」についての研修を行った。

内容

- ・男女共同参画社会の概要
- ・男女共同参画社会の現状と課題
- ・男女共同参画社会の推進に向けた県の取組み

日本における女性の社会進出について、現状を改めて認識することができた。県での取組みもしっかり把握し、那須町においても一人ひとりが豊かな人生を送れるよう議会として寄与していきたい。



議員コラム

普段の何気ない素顔をシリーズで紹介します

今回のテーマ
私のストレス解消法



ましやま

増山 このみ 議員

私のストレス解消法は、「登山」をすることです。自然に囲まれながら黙々と頂上を目指し、山頂でおにぎりを食べたら、心がスッキリして元気になれます。普段は見ることのできない風景は、感動と癒しを与えてくれます。那須には素晴らしい山々がありますので、皆さんもぜひ登山でストレス解消してみてくださいね。

こやまだ のりゆき

小山田 典之 議員

今の時代、私たちは常にスマートフォンやコンピューターに囲まれ情報が飛び交う中っているとストレスを感じます。古代からの健康法で今、話題のサウナでリフレッシュする事が私の解消法です。高温の環境で汗をかくことは、体をデトックスし、ストレスを軽減する助けになる。水風呂に入ると頭がスッキリし「整い」状態になる事がサウナの魅力です。今後も健康に気を付けながらサウナでストレス解消をして行きます。



みうら ようこ

三浦 陽子 議員

私のストレス解消法は、家族や友人との何気ない会話や食事を共にする時間です。時々、暴飲暴食をしてしまい自己嫌悪に陥りますが、それがストレスを軽減してくれるような感じになります。みなさんは暴飲暴食に気をつけてくださいね。



インターンシップを受入れました



議会を傍聴



写真撮影中

那須町では、9月4日(月)から8日(金)まで町行政(保育園等を含む)の仕事を経験することを目的としたインターンシップ(大学生、高校生等)を受入れました。

9月4日(月)の午後は、6名が議会傍聴の案内や議場内で書記(町職員)の補助及び議会を傍聴しました。

町民の声

音羽町1

きのした あい き
木下 愛貴 さん



那須に移住して満8年が経ちました。時が経つに連れ、那須の良さを身に染みて感じています。「海以外何でもある町」私は那須町のことをそう形容しています。そのくらい、たくさんの魅力に溢れている町だと思っています。中でも、最近特に感じることは、地域の子どもたちの可能性です。自身の活動のひとつ「だっばラジオ」の私の番組に黒田原小学校の6年生がゲスト出演した際、また那須地域の子どもたちと一緒に映画を制作した際に、強く感じました。前向きで、何事にも挑戦している子どもたちはきっと那須町をより発展させていく力になるでしょう。ラジオ出演の様子はYouTubeのアーカイブで、映画は11月18日に那須町文化センターで公開予定です。子どもたちの輝いている様子をぜひご覧になってみてください。那須町の明るい未来に思いを馳せて。

傍聴席

茶臼

み うら りゅう と
三浦 龍門 さん



那須町議会の定例会を先日傍聴してきました。久しぶりの傍聴です。

今回もいつもの顔ぶれで傍聴席にいる方々とほとんど変わらない議場で議員さんと役場の職員さんの質疑応答を見てきました。たくさんの意見があり・・・以下省略

毎回思うのですがYouTubeにライブ配信や議会が終わったらすぐアップできるようにネット配信をしたら関心の増える議会や町政を作っていけると私はそう思います。

何事も挑戦が必要だと思います！

発行人 那須町議会議長 室井 高男

編集 那須町議会広報特別委員会

〒329-3292 栃木県那須郡那須町大字寺子丙3番地13

TEL : 0287(72)6926 mail : gikai@town.nasu.lg.jp

12月定例会の予定

11月30日(木)～12月13日(水)

11月						
日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30 定例会開会		
12月						
					1	2
3	4 一般質問 (第1日)	5 一般質問 (第2日)	6	7 常任 委員会	8 常任 委員会	9
10	11 常任 委員会	12 予算審査 特別委員会	13 定例会 最終日	14	15	16

お知らせ

議員全員協議会傍聴のご案内
(11月から1月)

11月24日(金)

12月20日(水)

1月24日(水)

午前9時から

※開催予定は変更する場合がありますので、予めご了承ください。

議会のスケジュールは、町ホームページ「那須町議会カレンダー」から確認できます。



スマートフォンやタブレット端末から 議会だよりを読むことができます

TOCHIGI ebooks (栃木イーブックス)



マチイロ



本会議をインターネットで動画配信しています



議員の寄付行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員がお歳暮などの物を贈る寄付、地域への催し物への寄付や差し入れることは禁止されています。

また、議員に対し、寄付を出すよう勧誘する、また要求することも禁止されています。

皆さまのご理解をお願いします。

音訳版
今号は12月中旬頃掲載予定



表紙の紹介

芸術の秋!表紙の写真を撮影したこの日は、伊王野保育園で地域交流会が開かれました。三味線の音色に目をキラキラさせ聞き入る子どもたち、将来、世界に通じる演奏者が現れるかも知れません。



レポート
第10弾

“「那須地区消防組合 湯本分署」の巻”



今回は令和6年に移転新築が決まった「那須地区消防組合湯本分署」をレポート！
日々、地域住民の安全を守る消防士の朝の業務に密着し、朝礼・点検作業の様子や分署内の現状を見学させていただきました。



有事に備えしっかり点検

朝8時30分、朝礼・点検

24時間勤務のため、朝礼で引き継ぎをして勤務交代します。屈折式はしご付き消防車の点検も毎日、細部に渡りしっかりと行います。



地上約25メートルの高さまで伸びるはしご車があるのも、高層ホテルが多い地区にある分署ならではのです！



建設当時は土間だった自炊室

新分署は、那須高原地内の町有地に建設されます。ヘリポートを含め、現分署の約2倍の敷地面積となる予定です。



移転新築予定地

昭和48年に建設された建物は老朽化が進み、手狭な箇所も。

見聞後記

日々、地域の方々の生命と財産を守る消防士。緊張感のある24時間勤務の分署内は、老朽化や狭さにより充実した環境とは言い難いものでした。令和6年の新庁舎移転により、大変な業務にあたっている消防士の働く環境が改善がされ、また、最新の防災・消防機器が備えられることにより、地域の皆さんの安全安心が提供されることを期待します。